

令和8年度（令和9年度入試）

練馬区立石神井中学校

進路ガイド

第1集

3年_____組 氏名_____

目 次

1	進路について	2～
2	高校受験の主なパターンと概況	7～
3	都立高校の入試について	8～
	①推薦に基づく選抜	8
	②学力検査に基づく選抜（一次募集・分割前期募集）	9
	③スピーキングテスト（ESAT-J）について	11
	④学力検査に基づく選抜（分割後期募集・二次募集）	12
	⑤その他の入試	13
	⑥近年の変更点	14
4	私立高校の入試について	15～
	①推薦入試	16
	②一般入試	16
	③その他の入試	17
5	今後の流れ	18
6	保護者の皆様へ	19

資料1 石神井中推薦基準について

資料2 令和8年度 進路指導年間計画

資料3 過去3年間の進路先一覧

1 進路について

●進学について

① 高等学校

高等学校は、中学校における教育の基礎の上に、心身の発達及び進路に応じて、高度な普通教育及び専門教育を施すことを目的とされています。高等学校に入学することのできる者は、中学校もしくはこれに準ずる学校、もしくは義務教育学校を卒業した者、もしくは中等教育学校の前期課程を修了した者、又は文部科学大臣の定めるところにより、これと同等以上の学力があると認められた者とされています。高等学校は義務教育ではないため、入学を希望する場合には、入学者選抜に合格する必要があります。

<高等学校の種類>

(1) 都立高校（公立高校）

都道府県など地方自治体が設置した高等学校のことです。東京都が設置した公立高校は都立高校と呼ばれます。都立高校に通うためには都内在住であることが条件です。授業料や入学金などの学費が、私立高校に比べて安いです。東京都教育委員会の方針の下、先進的な取り組みをしている高校が多いです。また、都立高校以外の公立高校（県立高校）を受験する場合は、入試制度が違いますので早めに担任の先生に相談してください。

【参考資料】東京都教育委員会「だから、都立校」



(2) 私立高校

民間の学校法人が設立した高校です。授業は学習指導要領が基盤ではあるものの、建学の理念に則った教育を行うなど、学校独自の個性が強いのが特徴です。また、公立高校は特定の宗教や教派に依拠する教育は禁じられている一方、私立高校の場合はカトリック系など宗教教育が可能です。公立高校に比べ、学費が高い傾向もあります。ただし近年は、公的な支援も増えています。学力や希望進路により多様なクラス・コースを設定していたり、目的に合わせてさまざまな設備が整備されていたりすることも特色です。

【参考資料】東京私立中学高等学校協会公式 HP「東京私学ドットコム」



(3) 国立高校

国が設置、運営をする高校ですが、国が直接運営しているのではなく、国立大学法人と独立行政法人国立高等専門学校機構といった団体が運営しています。国立大学附属の高校が多く、クラスは少人数制で個人指導を行う等、教育環境が充実しています。大学進学を前提に、生徒それぞれの個性に合った適性を見出していく指導が行われています。国立大学附属ではありますが、基本的に内部進学制度はありませんので、ご注意ください。都内には、お茶の水女子大学附属高等学校、筑波大学附属高等学校、筑波大学附属駒場高等学校、東京工業大学附属科学技術高等学校、東京学芸大学附属高等学校等があります。

< 高等学校の課程 >

課程とは、簡単に言うと高校への「通い方」の違いです。現在では、様々な「通い方」を選べるようになっていきます。以下の表では、都立高校を例として挙げています。

課程	内容
全日制 (学年制)	朝から午後までの日中に授業があり、学習する教科・科目が学年ごとに定められています。最も一般的な過程です。
全日制 (単位制)	朝から午後までの日中に授業があり、必修(必履修)科目の他に自分に適した教科・科目を選択することができます。学年制よりも、自分で選択できる教科・科目が多いことが特徴です。
定時制 (学年制・夜間)	夕方から夜にかけて授業があり、学習する教科・科目が学年ごとに定められています。修業年限は4年(一部の学校では3年も可)です。
定時制 (単位制・昼夜間)	午前(1部)・午後(2部)・夜間(3部)の中から自分の所属する部を選び、各時間帯の授業を受けます。他の部の授業も受けることができ、自分で選択できる教科・科目が多いことが特徴です。修業年限は4年(3年も可)です。
定時制 (単位制・夜間)	夕方から夜にかけて授業があり、必修(必履修)科目の他に自分に適した教科・科目を選択することができます。学年制よりも、自分で選択できる教科・科目が多いことが特徴です。修業年限は4年(3年も可)です。
通信制	自宅等で学習し、レポートなどの添削指導を受けながら、月2日程度定められた日に登校し、通学して先生から授業(「面接指導」や「スクーリング」とも呼びます。)を受けます。修業年限は3年です。

※修業年限とは、教育課程を卒業・修了するのに必要とされる標準的な年限のことです。

< 高校の学科について >

高校では、学ぶ内容によって、複数の学科に分かれています。一般的な教科を学習する「普通科」が多いですが、専門科目の勉強を行うことができる「専門学科」もあります。以下の表では、都立高校を例として挙げています。

学科	内容
普通科	一般的な中学校と同様に、各教科（国語、地理歴史、公民、数学、理科、保健体育、外国語など）を中心に学習します。
普通科 （コース制）	通常の普通科よりも、各学校で重点を置く学習内容（授業）が充実しており、1年次から各コースに分かれて学習します。R7年度は外国語コース（深川・松が谷・小平）、造形美術コース（片倉）のみ。
総合学科	国語や数学などを学ぶだけでなく、工業や商業、農業、福祉、看護、美術などの幅広い選択科目の中から、自分の進路希望に合った科目を選択して学習する学科です。 例：杉並総合・晴海総合・つばさ総合・世田谷泉総合等
農業科	園芸・ガーデニング、フラワーアレンジメント、牛やペットの飼育、食品調理や庭園造りなど学科によって学習内容は様々。実習を通じて資格取得なども支援しています。例：農芸・農業等
工業科	機械・自動車・電子工作の他、建築や化学、デザインについて学習することができます。例：練馬工科・杉並工科・中野工科等
工業科 （デュアルシステム科）	工業科の中でも機械系の学習のほか、ものづくり企業で1～2か月の企業での実習（長期インターンシップ）を授業として取り入れています。実際に働く体験を通じて、自分にあった企業や仕事を探することができます。六郷工科・葛西工科・多摩工科の3校があります。
科学技術科	理系大学への進学を目標に、実験や研究活動を通じて科学技術について深く学習することができます。科学技術・多摩科学技術の2校があります。
商業科	簿記やコンピュータなど専門分野の学習に加え、企業と連携して実際のビジネスを体験する実習などがたくさん用意されています。社会で役に立つ資格を取るための勉強ができるのも特徴です。例：第四商業・第一商業・芝商業・足立等
ビジネス コミュニケーション科	ビジネスに関する科目の他、英語でのコミュニケーションや情報処理などの知識・技能を身に付けることができます。大学進学を目標にしながら、ビジネスについても学ぶことができます。千早・大田桜台の2校です。
情報科	コンピュータプログラムやコンピュータ言語、グラフィックなどを自分で研究しながら学ぶことができます。新宿山吹高校（定時

	制) にあります。学習状況次第で3年間でも卒業ができます。
産業科	橘高校と八王子桑志高校があります。橘高校では、デザイン・クラフト等のものづくりやビジネス会計などを学びます。八王子桑志高校ではデザインやコンピュータについて学びます。
水産科	大島海洋国際は、海洋に関する授業・実習や各種研究機関との連携を通して、実践的な海洋教育を行い、海洋関連産業の幅広い分野で活躍できる人材を育成します。
家庭科	栄養士、保育士、デザイナーなど、家庭生活に直結する職業につくための基礎を学びます。たくさんの実習を通して、料理や栄養、服飾デザインなどを学ぶことができます。赤羽北桜・農業等・忍岡・瑞穂農芸の4校があります。
福祉科	病院や福祉施設などでの実習を通して、近年人材不足と言われる福祉・看護の世界で働く人を目指します。 赤羽北桜・野津田の2校があります。
理数科	理数系分野の幅広い素養と情報活用能力等を高いレベルで併せもつとともに、それらを生かして文理融合的な視点から新しい価値（イノベーション）を生み出すことのできる人材を、高度な課題研究の実践などを通じて育成することを目指します。科学技術・立川の2校にあります。
芸術科	音楽、美術、舞台表現に関する専門的な科目を学習する学科です。音楽については器楽・声楽・作曲・楽理の4つの専攻、美術は日本画・油彩画・彫刻・デザイン・映像の5つの専攻、舞台表現は演劇・舞踊の2つの専攻があります。総合芸術に芸術科があります。
体育科	体育・スポーツに関する専門科目の学習を行うことにより、保健体育に関する知識・技能を身に付けます。共通科目の他に、学校によりバレーボール、バスケットボール、サッカー、体操、陸上、水泳、柔道、剣道などの専攻に分かれた専門の学習を行います。駒場・野津田の2校があります。
国際学科	国際理解教育や英語などの外国語教育を通して、国際社会で活躍できる人材を育成する学科です。国際高校にあります。
併合科	二つ以上の学科が一緒になっている学科です。都内では3校があります。農業科と家庭科（大島・三宅・八丈） 農業科と普通科（瑞穂農芸高校（定時制））

② 高等専門学校

中学校卒業生を対象とした、修業年間5年間の一貫した専門教育を行う、大学と並ぶ高等教育機関です。卒業生には準学士の称号が与えられます。学科は、機械工学、電気、電子工学、情報、デザイン等に関わる学科があります。また、高専卒業生を3年生に編入させる大学や、高専卒業生のために設置された大学院レベルの大学もあります。都内には国立東京工業高専（八王子）、都立産業技術高専（品川・荒川）、私立サレジオ高専（町田）があります。都立高専の応募資格は、都立高校と同じで、推薦入試・一般入試の両方があります。

【参考資料】東京都立産業技術高等専門学校HP



③ 専修学校(高等専修学校)

高等専修学校（専修学校高等課程）は、中学卒業生を対象に実務面にウェイトをおいた教育を行っています。各分野の専門教育を重視していますが、一般の高等学校と同様に、高校卒業の資格を得られ、大学への編入も可能です（条件あり）。「工業」「農業」「医療」「衛生」「教育・社会福祉」「商業実務」「服飾・家政」「文化・教養」の8つの分野に分類されています。専修学校の高等課程には、学科によって1年制から5年制までいろいろなコースがあります。

【参考資料】公益社団法人東京都専修学校各種学校協会



④ 職業能力開発センター

新たに職業に就かれる人、求職中の方、転職を希望している人を対象に、就職を目指し、職業に必要な知識・技能を習得していくための施設です。機械または溶接の技能を身につけられます。卒業後、ハローワークの紹介により就職を斡旋します。

【参考資料】東京都 TOKYO はたらくネット



●就職について

就職に関しては、「ハローワーク（公共職業安定所）」を通して紹介してもらう場合と、縁故によるものがあります。また、昼間は働きながら夜間の定時制高校に通い働きながら学ぶ方法もあります。企業内高校といい、給料を貰いながら学び就職できる学校もあります。日野自動車株式会社の企業内訓練校である日野工業高等学園がそれにあたります。就職希望の場合は早めに担任の先生に相談してください。

【参考資料】東京労働局 東京ハローワーク



2 高校受験の主なパターンと概況

(1) 都立高校が第一希望の場合

- ① 都立高校 + 私立高校を併願優遇制度を利用して受験
- ② 都立高校 + 私立高校を一般受験
- ③ 都立高校のみ受検

※併願優遇制度で受験するには石中の条件と高校側からの条件を満たす必要があります。
また、この制度がない私立高校もあります。

(2) 私立高校が第一希望の場合

- ① 私立高校のみ（単願）推薦で受験
※入試相談を通さない推薦の場合は、併願校を検討しておく必要があります。
- ② 私立高校を一般入試で受験 + 私立高校併願可の私立高校を受験

(3) R8年度入試の概況（※進学研究会資料より）

- ・ R7年度入試から私立第一志望の大幅増加。全日制高校を第一志望とする生徒のうち、3人に一人が私立志望。私立の単願推薦合格者が前年比1450名。
- ・ 私立志望が増え、都立の倍率は平均すると低下していますが、高校によっては合格ラインが低下しているとは限らないので注意が必要です。

志望数の推移(都立・私立)				
■ 志望数と前年差				
区分	R5	R6	R7	R8
都立全日制・ 高等専門学校 (前年差)	49362 (544)	49431 (69)	45720 (-3711)	44704 (-1016)
国立・私立・ 他県公立 (前年差)	19584 (-171)	19242 (-342)	22548 (3306)	23242 (694)
都立以外 定時制・通信制 (前年差)	3311 (471)	3850 (539)	4052 (202)	4108 (56)
(在籍数前年差)	(1290)	(416)	(-252)	(-301)

志望割合の推移(都立・私立)										
第1志望/中3生	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
都立	全日制	68.2%	66.9%	65.6%	64.4%	63.9%	63.5%	63.3%	58.7%	57.6%
	定時制 (昼夜間合)	2.8%	2.6%	2.8%	2.5%	2.9%	3.2%	3.3%	3.4%	3.4%
私立	全日制	23.1%	24.1%	25.4%	25.8%	25.9%	25.2%	24.6%	29.0%	30.0%
	通信制	1.9%	2.3%	2.4%	3.3%	3.6%	4.0%	4.7%	5.0%	5.1%
私立授業料無償化					所得制限撤廃					

● 入学者が超過した私立高校（R8年度入試）

日体大荏原 東京 青陵 文教大付属 朋優学院 自由ヶ丘学園 目黒学院
 関東国際 国士館 佼成学園女子 大東学園 目白研心 実践学園 堀越
 日大鶴ヶ丘 英明フロンティア 豊南 淑徳巣鴨 駒込 郁文館グローバル
 東洋大京北 昭和第一 京華商業 帝京 淑徳 成立学園 大成 拓殖大第一 . . .

3 都立高校の入試について

令和9年度 都立高等学校 入学者選抜の日程

日程	入試 推薦に基づく選抜	学力検査に基づく選抜		
		第一次・分割前期	分割後期・第二次	定時制第二次
出願受付期間	1月 8～18日	1月29日～2月4日	3月4日	3月25日
実施日	1月26・27日	2月21日	3月9日	3月26日
合格発表日	2月2日	3月1日	3月12日	3月29日

※分割募集：定員を前期と後期に分割し、2回に分けて行う募集

※第二次募集：第一次募集で欠員のある学校が行う欠員補充の募集

※インフルエンザ等学校感染症罹患者等に関する追試験は、分割後期募集及び全日制第二次募集の日程で実施します。

① 推薦に基づく選抜

推薦に基づく選抜として、一般推薦、文化・スポーツ等特別推薦（以下「特別推薦」という。）及び理数等特別推薦（以下「特別推薦（理数）」という。）を設けています。

（1）推薦に基づく選抜の種類

①一般推薦

基礎的な学力を前提に、思考力、判断力、表現力等の課題を解決するための力や、自分の考えを相手に的確に伝えるとともに、相手の考えを的確に捉え人間関係を構築するためのコミュニケーション能力など、これからの社会にあって生徒たちに必要となる力を評価し、選抜します。

②文化・スポーツ等特別推薦

各都立高校の個性化・特色化を推進するため、卓越した能力をもつ生徒の力を評価し、選抜します。一般推薦と特別推薦両方を受検することができます。

③理数等特別推薦

科学技術の根底にある理数系分野の素養を前提に、探究の過程を通して、課題を解決する力や、他者の考えから自分の考えを深めるとともに、新しい価値を生み出す創造性など、変化し続ける社会にあって生徒たちに必要となる力を評価し、選抜します。立川高校・科学技術高校の創造理数科にて実施されています。ほかの推薦と合わせて出願することはできません。

（2）応募資格

志願する都立高校を第1志望し、在学している中学校長の推薦を受けた者

※合格したら必ず入学することになります。辞退はできません。

(3) 募集人員

普通科で募集定員の20%(コース制30%)まで、専門学科・総合学科などでは30%(工業科等は40%)までとなっています。

(4) 検査内容

一般推薦の志願者全員に個人面接を実施する。また、小論文又は作文、実技検査、集団討論、その他学校が設定する検査(以下「小論文又は作文等の検査」という。)のうちから、当該都立高校長が定めたいずれか一つ以上の検査を実施します。特別推薦の志願者全員に個人面接又は集団面接及び実技検査を実施し、その他の検査の内容については当該都立高校長が定めます。特別推薦と同時に一般推薦を志願する者については、一般推薦において実施する個人面接及び小論文又は作文等の検査についても課すものとします。

特別推薦(理数)の志願者全員に科学分野等の研究に関するレポートに関する口頭試問、個人面接及び小論文の検査を実施します。推薦入試での調査書点は、学習状況や意欲・適正などをきめ細かく評価した観点別学習状況の評価(A・B・C)と必修9教科の評定(5・4・3・2・1)のどちらか一方が活用されます。

※自己PRカードは、「志望理由について」、「中学校生活の中で得たことについて」、「高等学校卒業後の進路について」の3項目について記入します。点数化することなく、面接の際の資料として活用されます。

② 学力検査に基づく選抜(一次募集・分割前期募集)

(1) 学力検査

学力検査の教科について、全日制は5教科(国語・数学・英語・理科・社会)500点満点とします。定時制では、3教科(国語・数学・英語)300点満点とします。

※検査は原則として各校共通問題で行われますが、一部の高校では、自校作成問題を使用し、英語・数学・国語の3教科については各校独自で学力検査問題が行われました(理科・社会は都立高校共通問題を使用)。該当校は以下の通りです。

進学重点校：日比谷・西・国立・八王子東・戸山・青山・立川

進学重視型単位制高校：新宿・墨田川・国分寺

英語のみ自校で作成：国際

(2) 選考方法

学力検査の結果、調査書に記載された評定(調査書点)、スピーキングテストの結果は合計1020点満点になるように換算します。学力検査と調査書点の原則比率は7:3とし、合わせたものを「総合得点」といいます。

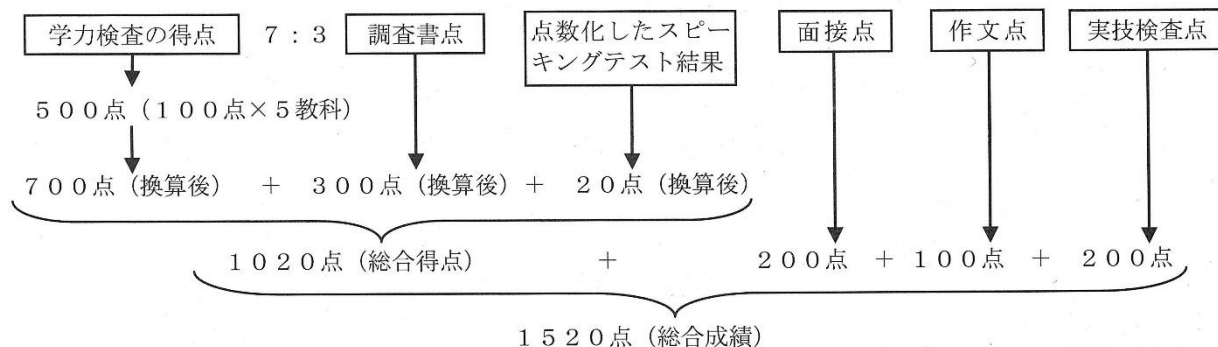
面接や作文、実技検査を実施する学校では、さらにそれらの結果を加えて「総合成績」を出し、その順に合格候補者を決定します。

調査書点の算出方法

$$\text{各受検者の調査書点} = \text{各受検者の評定の得点} (\ast) \times \frac{\text{調査書点の満点}}{\text{評定の満点}}$$

※ 学力検査を実施する教科の評定を1倍、学力検査を実施しない教科の評定を2倍として算出したものです。

(例) 5教科、傾斜配点を行わず、学力検査の得点と調査書点の比率が7:3、面接点の満点が200点、作文点の満点が100点及び実技検査点の満点が200点の学校の場合



(3) 志願変更

全日制の都立高校の志願者は、願書提出後、1回に限り志願の変更をすることができます。同一都立校内に普通科とコース、農業科と家庭科等、複数の学科がある場合は、それぞれ別の学科として扱うため、一方に出願後、他方へ志願変更することができます。**ただし、入学願書の返却を受けた都立高校の同一のコースおよび科(分野)に再提出することはできません。**また、同一の都立高校内になる同一学科内の科(分野)相互間の志望順位の変更もできません。

<志願変更ができる例>

- (例1) 八潮高校の普通科に出願後、異なる学科である芝商業高校のビジネス科へ志願変更をすることができる(その逆も可能)。
- (例2) 富士森高校の普通科に出願後、コースを置く片倉高校の造形美術コースへ志願変更をすることができる(その逆も可能)。
- (例3) 国際高校の国際学科に出願後、コースを置く小平高校の外国語コースへ志願変更をすることができる(その逆も可能)。
- (例4) コースを置く深川高校の外国語コースに出願後、同じ深川高校の普通科へ志願変更をすることができる(その逆も可能)。
- (例5) 農業高校の農業に関する学科の食品科学科に出願後、同じ農業高校の家庭に関する学科の食物科へ志願変更をすることができる(その逆も可能)。

<志願変更ができない例>

- (例1) 園芸高校の農業に関する学科の動物科を第1志望として出願後取り下げ、同じ園芸高校の農業に関する学科の食品科を第1志望として再提出することはできない(同一校同一学科への再提出はできない。志望順位の変更もできない。)
- (例2) 六郷工科高校の工業に関する学科のプロダクト工学科を第1志望として出願後取り下げ、同じ六郷工科高校の工業に関する学科のデュアルシステム科を第1志望として再提出することはできない(同一校同一学科への再提出はできない。志望順位の変更もできない。)
- (例3) エンカレッジスクールの蒲田高校に出願後取り下げ、チャレンジスクールの六本木高校に再提出することはできない(全日制からチャレンジスクールへの志願変更はできない。その逆は可能)。

③ 中学校英語スピーキングテスト（ESAT-J）について

東京都教育委員会は、グローバル人材を育成するために、小・中・高校で一貫した英語教育を推進しています。中学校で学習した「話すこと」に関する技能の習得状況の成果と課題を検証し、指導の更なる充実を図るために、都内公立中学校第3学年生徒を対象に、「中学校英語スピーキングテスト（ESAT-J）」を実施しています。このテストは、都立高校の入学選抜において評価として活用されます。年生全員が対象です。

・ 流れ

申し込み	7月下旬～9月上旬
↓	
試験	11月22日（日）
↓	
結果受け取り	1月中旬

・ 点数

評価	点数
A	20
B	16
C	12
D	8
E	4
F	0

↑ 調査書へ記載

(1) 実施日 令和8年11月22日（日） ※ 予備日：令和8年12月13日（日）

(2) 会場 都立高等学校、大学、民間施設等

※昨年度、本校生徒は、都立大泉高校会場で受験しました。

(3) 対象 都内公立中学校に在籍する第3学年全生徒

(4) 実施方法

事業者が用意するタブレット端末等を用いて、生徒を前半試験実施と後半試験実施の2組に分けて実施します。準備時間を含み前半試験実施と後半試験実施、各65分程度となります。

(5) 受験申込

受験申込は、専用のWEBサイトにより行います。学校を通して、①ESAT-J専用ポータルサイトにおいて、保護者アカウントを作成し「保護者用マイページ」を開設、②「保護者用マイページ」にて基本情報を登録、③「保護者用マイページ」にて受験申込。生徒用申し込みマニュアルを配布いたしますので、ご確認ください。

(6) 特別措置

個別の状況や障害特性等のある受験者や日本語指導の必要な受験者に対する特別措置があります。特別措置を希望する場合は、受験申込の前に措置申請を行う必要があります。詳細は、東京都教育委員会HP中学校英語スピーキングテスト実施要項をご確認ください。

<事由の例>

- ・緘黙、きつ音や発話障害、難聴等の障害・疾患により、英語「話すこと」の評価ができない場合
- ・何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により、登校したくてもできない状況になる場合

(7) 追試験・再試験

実施日に、やむを得ない理由（病気・忌引等）で受験することができず、在籍中学校長が認め、かつ予備日申請により承認された生徒は、予備日に追試験を受験することができる。申請期限までに中学校の公印が入った「予備日（追試験）受験申請書」を作成し、生徒用マイページから受験申込をする必要があります。詳細に関しては、英語科までお問合せください。

<対象となる例>

- ・インフルエンザ等への罹患
- ・学校保健安全法第19条による出席停止
- ・その他、受験者本人の責めによらない、やむを得ない理由（病気による入院、交通事故による負傷、忌引等）

※都立高校入試でスピーキングテスト結果を活用する際に「不受験者に対する措置」を行うのは、インフルエンザの罹患などのやむを得ない理由により、当日も予備日もテストを受験できなかった生徒などが対象となります。「テストを休んだ方が入試においては点数が高くなる」という理由でテストを受験しなかった場合は、「不受験者に対する措置」はなく、点数は0点となります。

【参考資料】東京都教育委員会【特設ページ】中学校英語スピーキングテスト



④ 学力検査に基づく選抜（分割後期募集・二次募集）

(1) 募集人員

分割後期募集を行うのは、昼夜間定時制高校の一橋高校、浅草高校、荻窪高校、砂川高校、八王子拓真高校の5校です。また、一次募集で定員に達しなかった高校は、その相当人員について二次募集を行います。

※昨年度二次募集が行われた近隣の主な高校⇒大山・光丘・田柄・久留米西・東村山西・東村山・第四商業・田無工科・杉並工科・練馬工科

(2) 応募資格

推薦および一次募集で合格した者、また私立高校などに入学手続きをした者は応募できません。

(3) 学力検査

国語、数学、英語の3教科で実施し、面接も多くの学校で行われます。

⑤ その他の入試

(1) 海外帰国生徒対象・在京外国人生徒等対象の入学者選抜

都立高校では、海外帰国生徒・在京外国人生徒等対象の入学者選抜があり、一般の学力検査とは別の日程で実施されます。応募資格に海外での在住年数、帰国後の年数などがあります。ご確認の上、担任にご相談ください。

海外帰国生徒：三田高校、竹早高校、日野台高校、国際高校

在京外国人生徒：竹台高校、田柄高校、南葛飾高校、府中西高校、飛鳥高校、六郷工科高校、杉並総合高校、一橋、浅草、荻窪、砂川、国際高校

	海外帰国生徒	在京外国人生徒等	在京外国人生徒（国際）
出願受付期間	1月29日～2月4日	1月20日・21日	1月29日～2月4日
実施日	2月15日	1月26日	2月15日
合格発表日	2月17日	2月2日	2月17日

(2) エンカレッジスクールの入学者選抜

小・中学校で十分能力を発揮できなかった生徒のやる気を育て、頑張りを励まし、応援する学校として、社会生活を送る上で必要な基礎的・基本的学力を身に付けることを目的としています。基礎からやり直すことができる工夫がされています。定期考査がなく、2人担任制、30分授業、レベル別習少数人数授業を行っている学校もあります。基礎・基本を徹底するとともに体験学習を重視しています。入学者選抜では学力検査は実施されず、調査書、面接、小論文、実技検査等で合否が決まります。練馬工科・中野工科・蒲田・足立東・東村山・秋留台の6校がエンカレッジスクールに指定されています。

(3) チャレンジスクールの入学者選抜

チャレンジスクールは、主に小・中学校で不登校の経験があったり、高校で中途退学を経験したりして、これまで能力や適性を十分に生かしきれなかった生徒が、自分の目標を見つけ、それに向かってチャレンジする高校です。自分のライフスタイルや学習ペースに合わせて各時間帯（午前・午後・夜間の三部）を選んで入学する、昼夜間の定時制・総合学科・単位制の高校です。4年間かけて学ぶことを基本としますが、他部の科目の履修等により、3年間での卒業も可能です。入学者選抜では調査書の提出はなく、学力検査も実施されません。面接、作文及び志願申告書によって合否が決まります。稔ヶ丘・六本木・大江戸・世田谷泉・桐ヶ丘・小台橋・立川緑の7校が指定されています。

(4) 通信制の入学者選抜

通信制の都立高校は、自宅等で学習し、レポートなどの添削指導を受けながら、月2日程度定められた日に登校し、通学して先生から授業（「面接指導」や「スクーリング」とも呼びます。）を受けます。修業年限は3年です。入通信制過程は一橋・新宿山吹・砂川の3校があります。

⑥ 近年の主な変更点

(1) 通信制過程の入試日程

R7 年度までは通信制過程の入試は4月に行われていましたが、ニーズの高まりを受け、令和8年度入試から2月22日(日)に通信制過程前期選抜が行われます。後期の選抜は例年通り4月の一週目の予定です。R8年度の都立通信制課程の倍率は1.9倍になりました。

(2) 全日制課程での分割後期募集の廃止

令和8年度入試からこれまで分割後期募集を行っていた全日制課程高校21校の募集が廃止になります。昼夜間定時制高校の一橋高校、浅草高校、荻窪高校、砂川高校、八王子拓真高校の5校の分割後期募集は継続されます。

4 私立高校の入試について

私立高校は、独自の教育方針をもち、校風もバラエティ豊かです。教育方針に基づき、徹底した進学指導、あるいは就職指導を行うところも多くなっています。また、大学附属の場合はその大学への優先入学制度をもっている場合があります。ここ数年の傾向として、男子校、女子校が共学校へ移行してきています。近年は学力重視で教育に力を入れ、難関大学の合格者を多数輩出している進学校や名門校、無試験で大学まで進学できる大学付属の私立高校が人気を集めています。

私立高校は国や自治体が設置する公立などと違い、学校法人が運営していることから、学費が高額なのが特徴です。入学金をはじめ、授業料や諸費用など、公立高校と比べ、倍近くかかるといわれていますが、その分設備が充実しているなどメリットも多くみられるほか、入学試験の結果により、優秀な学生は入学金や授業料の免除がされたり、一部割引を受けられたりする特待生制度というものもあります。

私立高校の入試に関しては、各自で高校説明会等に参加し、出願に必要な書類を用意して下さい。入試要項は例年10月以降に出来上がります。

私立高等学校等授業料軽減助成金事業（都の助成制度）について

生徒と保護者が都内に住所を有している場合、私立高校等に通う生徒の保護者の負担を軽減するため、国の就学支援金とあわせて都内私立高等学校の平均授業料までを都が助成する制度が昨年度より始まっています。（全日制・定時制で最大49万円、都認可通信制は最大約27万円）

【参考資料】東京都私学財団HP



① 推薦入試 ※都内の私立高校の多くは1月22日前後に試験を行います。

推薦入試には、以下の条件全てを満たす必要があります。中学校の入試相談日（12月15日）までに、各高校の個別相談会等に参加し、相談を済ませておく必要がある学校が多いです。

（1）応募資格

- ①石神井中の「推薦に値する生徒」の条件を満たし、学校長の推薦を受けられる生徒であること。 ※石神井中の推薦基準に関しては、**資料1**をご参照ください。
- ②その高校が第1志望であること。
- ③その高校から示される入試基準を満たしていること。

※10月以降に各高校の説明会等で提示されます。すでに提示している高校もあります。同じ高校でも、コースや学科によって基準は異なります。

例：「素内申が9科で34以上、かつ1がないこと」

「3科（国数英）の合計が10以上であること」

「3年間の遅刻、欠席が10日以内であること」

以上の全てを満たすこと。

(2) 募集人員 全定員の50%以内と定められています。

(3) 合格発表までの一般的な流れ

①本人と保護者が高校の個別相談会に参加し、個別相談を受けます。

②入試基準を満たし、本人の入学意志が固いことを確認します。(12月三者面談迄に)

※合格したら必ずその学校へ進学することが条件となっています。

③12月15日から中学校の教員と、高校側とで成績資料等による合否の可能性について入試相談が行われます。

④1月上旬に出願手続きを行います。

⑤1月22日前後に入試を受けます。

⑥入試当日、入試後に合格発表を確認します。

※高校から提示される成績の基準には、出願基準と合格基準があります。早慶付属、GMARCH 付属（明治・青山・立教・中央・法政など）、国際キリスト教（ICU）などの私立高校の推薦入試の場合は、出願基準になりますので合否は各校の定めた選抜方法の点数（適性検査・面接・調査書等）しだいになります。

(4) 入試方法

①面接（1対1または1対多数の学校もあります。志望動機・将来の目標・高校で学びたいこと等が聞かれます。）

②作文（中学校で頑張ってきたことや、これからの抱負等について書きます。）

③調査書（都立形式が多いですが、私立統一形式、高校独自形式の学校もあり、1年次からの成績、出席状況を記入する学校もあります。）

④適性検査（複数教科の試験を行うところが増えてきています。）

(5) その他の推薦

上記のような学業成績以外にもスポーツや部活動、芸術、その他の特技をもった生徒を特別に優先する推薦制度をもつ学校もあります。

② **一般入試** ※都内の多くの私立高校は2月10日～12日に入試を行います。

(1) 一般受験（併願優遇なし）

基本的に当日の学力検査で合否を決定する受験形態のことです。

・何校受験しても何の制約もありません。

※受験日が重なる場合は、1校しか受験できませんので、ご注意ください。

・公立高校の一次（分割前期）の合格発表まで、入学金・施設費等の延納を認めてい

る高校が多いです。※ただし、延納願など手続きが必要な場合もあります。

- ・学力試験は、国語・数学・英語の3教科が中心です。
- ・学力試験は学校の特色があり難しい問題が出される場合もあります。過去の問題を解いて傾向をつかむ必要があります。
- ・全募集定員の50%まで推薦入試で決まり、残りの枠の中でも優遇措置で受験している生徒も多くいるため、合格者は定員よりも多く出すものの、一般入試の募集の枠はかなり絞られてしまっている場合があります。希望する高校の募集人数・募集方法を個別に確認する必要があります。

(2) 一般受験（併願優遇利用）

事前の入試相談を通して、第一志望の高校の受験に不合格の場合に入学したい旨を伝え、当日の学力試験の結果が優遇される制度です。中学校の入試相談日（12月15日）までに、各高校の個別相談会に参加し、相談を済ませておく必要がある学校が多いです。試験内容や日程は一般受験と同様です。

特徴としては、以下の4点が挙げられます。

- ①「第1志望の高校」は公立（都立）・私立高校でも可の学校がほとんどですが、公立（都立）高校に限る高校もありますので、ご注意ください。
- ②高校側から提示される入試基準は、第1志望で受験する推薦入試の基準よりも高くなっています。
- ③国語・数学・英語の学力試験に加え、面接を実施する高校もあります。
- ④公立高校の一次（分割前期）の合格発表まで、入学金・施設費等の延納を認めている高校が多いです。※ただし、延納願など手続きが必要な場合もあります。

(3) 第一志望優遇

推薦入試の基準に満たない場合でも、合格できたら必ず入学することで、点数加算などの優遇が得られる制度を用意している学校もあります。

※なお、埼玉県や千葉県など他県の私立高校の入試の日程、選抜方法は東京都と違います。受験する可能性がある場合は、ご家庭でも情報を集めるとともに、担任にも早めにご相談ください。

③ その他の入試

〈通信制高校と通信制サポート校について〉

通信制高校と通信制サポート校の違いは、通信制高校は学校教育法によって認可されている高等学校ですが、通信制サポート校は高等学校ではないということです。通信制サポート校は勉強やそれ以外の相談にも乗ってくれる場所で、主に通信制高校の卒業のサポートをする学校です。よって、通信制サポート校のみの卒業では高卒の資格を取得することはできません。高卒の資格を取得するためには、必ず通信制高校への同時入学が必要とな

ります。

通信制高校を卒業するには、レポート（課題の添削）、スクーリング（面接指導）、テスト（試験）を通じて単位を取得しなければなりません。通信制高校では、勉強は独学で行わなければならないため、途中で挫折してしまうケースや卒業までに5年以上かかってしまうようなケースが目立つのが現実です。そうならず3年間で卒業できるよう、学習面、生活面、精神面でサポートすることが通信制サポート校の目的です。

【参考資料】通信制高校ナビ



5 今後の流れ

7月	～13日	第1回 進路希望調査
	21～27日	三者面談
9月	～9日	第2回 進路希望調査
10月	7日	第2回学習到達度テスト
	～20日	第3回 進路希望調査
	24日	第2回 進路説明会
	27～2日	三者面談
11月	～18日	第4回 進路希望調査
12月	2～6日	三者面談
	15日～	都内私立 入試相談

高校見学・説明会に参加

受験校
(私立)
の決定

※都立高校の推薦受検を希望する場合は、12月中に受検校を決めてください
※私立の通信制高校等は11月頃より、受験がスタートする学校もありますので、早めの準備が必要です。

6 保護者の皆様へ

中学校での進路指導は、各学級担任が個々の判断で行うのではなく、校長をはじめすべての職員が関わり、学習進路部や学年全体で、一人ひとりの進路選択について、最良のアドバイスができるよう進めていきます。推薦の可否は、学年会職員会議をもとに校長の判断で行われます。各生徒の進路実現のために、学校全体で協力して取り組んでいきます。ご心配な点や疑問などがありましたら遠慮なくご相談いただければと存じます。

(1) 学校説明会について ※学校説明会は多くの学校が事前予約制です。

近年は、都立高校、私立高校ともに学校見学会、公開授業、学校説明会、部活動体験等を積極的に行っています。進学先を決める上で、上級学校を訪問し、自分の目で高校を確かめることは、必要なこととお考えください。

納得した進路選択をするためには、学校説明会には、できるだけ保護者同伴で参加し、複数の視点で学校を見学することが大切です。

- 特色ある学校が増え、特別な学科や多様なシステムがあり、きちんと説明を聞かないとわからないものが数多くあります。実際に足を運ぶことで、本当に自分に合った学科・コースを知る可能性も広がります。
- 学校によっては、説明会と同時に個人相談会を行う学校があり、その出席を、推薦や併願優遇の要件と考えたり、加点をする学校もあります。また、都立高校の文化・スポーツ等特別推薦も練習会などに参加し、部活の雰囲気などを事前に把握しておきましょう。

(2) 奨学金について

経済的な理由で就学が困難な場合、いろいろな団体による奨学金制度があります。東京都私学財団の「東京都育英資金」がそれにあたります。奨学金により、応募条件が異なります。内容や日程については、随時、学年だよりやリーフレット等でお知らせしています。詳細につきましては、各担任までお問い合わせください。

(3) 就職について

就職を希望する生徒には、ハローワーク池袋を通して就職に関する指導を進めます。秋までに事業所見学、12月に相談票の提出、1月以降に都内一斉選考が行われます。就職を考えている場合は、各担任までご相談ください。

縁故就職については、ともすると雇用条件が不明確になりがちです。就職後に賃金・労働時間・休日等に関して問題が発生し、それらを契機として早期に離職するケースが多く見られます。トラブルを避けるため、ハローワークへ求人申込を行うようお願いいたします。

Memo

A large, empty rectangular box with a thin black border, occupying most of the page. It is intended for the user to write the content of their memo.

卒業後の進路における本校の生徒推薦基準について

推薦は、校長名で、学校が行うものである。推薦者については、全教職員で協議し、学校長の最終判断をもって決定する。本校では就職、進学（都立・私立）に関わらず、以下の条件を満たすことを基準とする。

【練馬区立石神井中学校長が推薦に値する生徒の条件】

(以下①～⑤の条件をすべて満たす生徒)

- ① 欠席・遅刻・早退が多くない生徒であること。
(正当な理由があり、認められる場合を除く)
- ② 学校や社会のきまりを守り、学校内外での生活態度が落ち着いている生徒であること。
- ③ 各教科を通じて授業態度が良好で、意欲的に学習に取り組んでいる生徒であること。
- ④ 委員会・係活動、その他学級の当番活動などを誠実に行うことができる生徒であること。
- ⑤ 進路決定後及び卒業後も、推薦されたということを、自覚をもって行動できる生徒であること。

※ 部活動・校外活動などの推薦においては、上記①～⑤を満たし、さらにその活動でめざましい活躍をした生徒であること。

月	学校行事	進路関係(予定)	学習の重点		家庭での留意点
			授業	受験勉強	
4月	7日 始業式 8日 入学式 22日 3年保護者会	進路学習	毎日の授業の予習復習	1・2年の復習とまとめ	<p>・進路決定までの1年間の流れをつかんでおこう。</p> <p>・年間の流れから1日の学習計画を検討する。</p> <p>・家庭での学習環境を整えよう。</p> <p>・自分の能力や適性から、大まかな進路を考えよう。</p> <p>・保護者や先生と相談し、意見を聞こう。</p> <p>・このころから高校の説明会や体験入学が始まります。積極的に参加しよう！</p> <p>全力！ここでの失敗は取り返しがつかない！</p> <p>勝負の夏 夏を制するものは、受験を制す</p> <p>・規則正しい生活を続けよう。</p> <p>・不得意科目に力を入れよう。</p> <p>・病気の治療(特に虫歯)</p> <p>・夏休みの過ごし方で大きな差が出る。</p>
5月	8日 生徒総会 30日 体育祭	6日 進路講演会(高校の先生)	<p>期末考査</p>	<p>3年1学期の復習</p> <p>1・2年克服のまとめ</p>	
6月	17~19日 期末考査	25日 第1回学習到達度テスト			
7月	19日 終業式	<p>3日 第1回進路説明会 第1回進路希望調査 (~7/13)</p> <p>夏季三者面談(7/21~27)</p> <p>夏休み7/18~8/31</p>	<p>夏休み</p>	<p>毎日</p> <p>問題</p>	
8月					
9月	1日 始業式 14~16日 修学旅行 24・25日 中間テスト 30日 生徒会役員選挙	<p>第2回進路希望調査 (~9/9)</p> <p>私立基準確認 7日 第2回学習到達度テスト 第3回進路希望調査 (~20)</p> <p>23日 第2回進路説明会 進路面談(10/27~11/2)</p>	<p>中間考査</p>	<p>の授業の予習と</p> <p>演習で実践力の</p>	
10月	15日 合唱コンクール	<p>面接(集団討論)練習 作文・自己PR</p> <p>第4回進路希望調査 (~18)</p> <p>冬季三者面談(12/2~6) 面接(集団討論)練習 私立願書入手・受験確認書作成 専修・各種学校入試</p>			
11月	11~13日 期末考査		<p>期末考査</p>	<p>復習</p> <p>強化</p>	
12月	25日 終業式				
1月	8日 始業式	<p>私立 推薦 出願・入試・発表 都立 推薦 出願・入試・発表 私立 一般 出願 職業技術専門学校入試</p> <p>都立 一般 出願 私立 一般 入試・発表</p> <p>都立高専 入試・発表 都立 一般 入試・発表 都立定時制 入試・発表 私立 2次 出願・入試・発表</p>	<p>冬休み</p> <p>3年2学期の復習</p> <p>野の不得意克服分</p>		
2月	13日 作品展開始 24日~26日 学年末考査				
3月	19日 卒業式 25日 終了式	都立 2次 出願・入試・発表 都立定時制2次 出願・入試・発表	<p>授業は最後まで</p> <p>心入に総仕上げ中</p>	<p>学年末考査</p>	<p>・出願は、手続きミスの無いように、慎重にする。</p> <p>・担任との連絡はいつも密に。</p> <p>・入試問題をどんどん解く。</p> <p>・面接に備え、普段からきちんとした生活をする。(服装、頭髪、言葉遣い、特に挨拶)</p> <p>・生活を朝型にする。風邪(インフルエンザ)に注意！</p> <p>全力！入試の発表で中学校生活が終わったわけではありません。最後の試験です。力を出し切って卒業出来るように頑張りましょう。みんなで笑って、立派な卒業式にしましょう。</p>

基礎学力の充実
【まとめと理解】

高校

見学

応用力をつける
【課題の克服】

総仕上げ
【傾向と対策】

自分の進路が決まっても、石中全員の進路が決まるまで、みんなで頑張りよう。

資料 3

過去 3 年間の進路先一覧

<都立・高専・国立>		R7	R6	R5
普通科	日比谷		3	2
	戸山	1	7	
	竹早		1	2
	駒場			1
	青山	1		
	鷺宮	2	4	1
	武蔵丘	2	5	5
	杉並	3	1	1
	豊多摩	3		3
	西	1		3
	豊島	2		1
	飛鳥		1	
	文京	2	1	4
	竹台	1		
	板橋	5	3	
	井草	1	7	4
	大泉			
	石神井	6	4	6
	田柄	1		1
	練馬	2		1
	光丘	5	7	1
	武蔵野北	5	2	6
	小平	2	1	2
	調布北			1
	東大和		1	
	拝島			1
	清瀬	3	6	10
	久留米西	4	2	1
田無		1	6	
保谷	6	3	9	
国立	2			
東村山	2	1		
		R7	R6	R5
普通科単位制	新宿	1	4	
	国分寺		2	3
	上水		1	
	芦花			1
	板橋有徳	1		
	大泉桜	1	6	6
	農業	1		1
農業	農芸	9		
	工業・科学技術			
工業・科学技術	北豊島工科			1
	杉並工科			2
	墨田工科	1		
	中野工科	1	2	2
	練馬工科	5	2	
	田無工科		2	2
	科学技術		1	
	多摩科学技術	1	1	2
ビジネス	第四商業	6	6	1
	千早			1
水産	大島海洋国際			1
家庭	瑞穂農芸	1		
	赤羽北桜	1		1
芸術	総合芸術		1	
国際	国際			1
総合	杉並総合	1		
	東久留米総合	1	2	2
昼夜間定時	新宿山吹(普情)	1		2
	荻窪(普)	1	1	2
	稔ヶ丘(総)	1	4	5
	世田谷泉(総)			1
	小台橋(総)			1
	六本木(総)	2	1	1
国立	東京科学技術大学附属	1	1	1
他県	公立高等学校	1	2	
特支	特別支援学校	9	9	14

< 私立 >		R7	R6	R5
男子校	岩 倉		1	
	開 成		2	1
	科学技術学園		1	
	慶應義塾志木		2	
	城 北			1
	桐 朋			2
	保 善	3	3	3
	早稲田大学高等学院	2	2	
女子校	川 村	1		
	神田女学園	1		
	白梅学園			2
	立川女子			1
	東京家政大学附属女子		1	1
	東洋女子		1	2
	日本体育大学桜華		1	
	富士見丘	1		
共学校	青山学院	1		
	郁文館グローバル		1	
	浦和実業学園			1
	浦和麗明	2		
	関東国際	1	1	2
	関東第一			1
	錦 城	1	1	8
	国際基督教大学	1	2	
	國 學 院		3	2
	駒 込	1		
	駒沢大学		1	
	札幌新陽			1
	狭山ヶ丘	1		1
	静岡聖光学院	1		
	実践学園	4	1	3
	品川学芸			1
	自由ヶ丘学園	1		1
	自由学園	1		
	淑 徳	2	3	
	淑徳巣鴨	3	2	1
	城西大学附属城西		1	1
	白樺学園			1
	昌 平		1	
	聖徳学園	1	1	1
	城 北	1		
	昭和第一			1
	昭和第一学園	1		
	杉並学院		4	3
駿台学園	1			
成 蹊	2	1		

	R7	R6	R5	
共学校	成城学園			1
	聖徳学園		1	1
	西武学園文理			1
	成立学園	1	1	1
	専修大学附属	2	2	
	大 成	2		
	大智学園	1	2	
	大東文化大学第一	2		2
	拓殖大学第一	4	3	
	多摩大学目黒	1		
	中央学院大学中央		1	
	中央大学杉並	6	3	2
	中央大学附属			1
	貞静学園		1	1
	東亜学園	3	2	3
	東海大学菅生	1		
	東京文華	1	1	
	英明フロンティア	9	4	
	東京立正		1	1
	東洋大京北	1		
	豊島学院		4	1
	二松学舎大学附属	1		
	日本大学櫻丘	2		2
	日本大学第一			
	日本大学第二			4
	日本大学鶴ヶ丘	3	1	
	日本大学豊山	1		
	東 野	2		
	文化学園大学杉並		1	2
	文教大山形城北	1		
	法政大学第二		1	
	豊 南	2	5	9
	堀 越		1	1
	明秀学園日立	1		
	明星学園	1		3
	武蔵野音楽大学附属	1		
	武蔵野大学		4	1
	明治学院東村山	3	1	
	明治大学付属明治			1
	目黒学院		1	
	目白研心	2	1	4
	明 星	1		
流通経済大学付属柏		1		
通信制	8	13	20	
専修学校	1	2	1	
その他	1	2	1	

Memo

A large, empty rectangular box with a thin black border, occupying most of the page. It is intended for writing the content of the memo.

Memo

A large, empty rectangular box with a thin black border, occupying most of the page. It is intended for writing the content of the memo.